

令和7年度								工 事 仕 様 書				国補			
工 事 名				B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事											
工 事 場 所				春日部市谷原新田地内											
路 河 川 名 称				市道 2 - 2 1 号線、安之堀川、12-0-0水路											
事 業 名				橋りょう長寿命化修繕事業											
工 事 大 要				橋梁補修工（B 2 1 号橋 2） ひび割れ補修工 N = 1 構造物 断面修復工 N = 1 構造物 橋梁補修工（B 2 1 号橋 3） 断面修復工 N = 1 構造物											

The map shows the project area in Harano, Harima City. Two bridges are highlighted with circles and labels: **B 2 1 号橋 2** and **B 2 1 号橋 3**. Other labeled locations include: 谷原新田 (Harano Shinoda), 谷原中学校 (Harano Junior High School), 谷原中側グラウンド (Harano Chugawa Ground), 春日部市総合体育館 (Utsunomiya City General Gymnasium), 安之堀川 (Yanahori River), 武徳川 (Tokuetsugu River), 水草湿地 (Aquatic Wetland), ヒバリ草原 (Hibari Grassland), 谷原親水広場 (Harano Riverside Plaza), 谷原中側テニスコート (Harano Chugawa Tennis Court), 東京電力 武里変電所 (Tokyo Electric Power Co. Murai Substation), and プール (Pool). A scale bar indicates 100m and 1:2,500. A north arrow is in the top left corner.

案 内 図

B 2 1 号橋 2

B 2 1 号橋 3

谷原新田

谷原中学校

谷原中側グラウンド

谷原中側テニスコート

東京電力 武里変電所

プール

安之堀川

水草湿地

ヒバリ草原

谷原親水広場

春日部市総合体育館
ウイング・ハット春日部

武徳川

100m
1:2,500

工 事 名 : B 2 1 号橋 2 外 1 橋 補 修 工 事
工事場所 : 春日部市谷原新田地内

工事名：B21号橋2外1橋補修工事
工事場所：春日部市谷原新田地内

100m
1:2,500

変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正		1. 04	機械経費(賃料)補正		1. 02
単価適用年月		(R0706) 令和07年06月					
工 期	当 初	自			至	令和 8年 2月 20日	
		日 数					
	変 更			至			
経費適用年月		令和07年06月					
主たる工種		橋梁保全工事					
施 工 地 域		適用しない					
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分		閉所型 月単位					

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
道路維持・修繕						式			
				1					
_ 橋梁保全工事						式			
				1					
_ _ 橋梁補修工（B 2 1号橋 2）						式			
				1					
_ _ _ ひび割れ補修工						式			
				1					
_ _ _ _ 低圧注入工法						構造物			第1号一位代価表
				1					
_ _ _ 断面修復工						式			
				1					
_ _ _ _ 左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理有）						構造物			第2号一位代価表
				1					
_ _ _ 殻運搬						式			
				1					
_ _ _ _ 殻運搬						m3			第3号一位代価表
				1					
_ _ _ 仮設工						式			
				1					
_ _ _ _ 足場支保工						掛m2			第4号一位代価表

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — —	敷鉄板工					m2			第5号一位代価表
				45					
— —	橋梁補修工（B 2 1 号橋 3）					式			
				1					
— — —	断面修復工					式			
				1					
— — — —	左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理有）					構造物			第6号一位代価表
				1					
— — —	殻運搬					式			
				1					
— — — —	殻運搬					m3			第7号一位代価表
				1					
—	【交通誘導警備員】					式			
				1					
— —	【交通誘導警備員】					式			
				1					
— — —	【交通誘導警備員】					式			
				1					
— — — —	交通誘導警備員 B					人日			第8号一位代価表
—	直接工事費					式			
				1					

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
_ _ 共通仮設費計						式			
				1					
_ _ 共通仮設費(積分)						式			
				1					
_ _ _ 運搬費						式			
				1					
_ _ _ _ 仮設材運搬費						t			第9501号一位代価表
				8					
_ _ _ 共通仮設費 (率分)						式			
				1					
_ 純工事費						式			
				1					
_ _ 現場管理費						式			
				1					
_ 工事原価計						式			
				1					
_ _ 一般管理費等						式			
				1					
工事価格						式			
				1					
_ 消費税相当額						式			
				1					

本 工 事 費 内 訳 書								
工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工事費合計					式			
				1				

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

経 費 根 拠 書		
項 目	内 訳	率 / 金額
◆経費計算情報		
経費適用年月	令和07年06月	
主たる工種	橋梁保全工事	
施工地域	適用しない	
現場環境改善費計上区分	積上げ計上	
除雪工事補正	補正なし	
前払金支出割合	35%を超え40%以下	
契約保証の方法	金銭的保証	
工場管理・間接労務	計上しない	
間接工事費率補正（任意乗算補正）		
共通仮設費率補正	1.03	
現場管理費率補正	1.05	

第1号一位代価表

低圧注入工法

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		構造物			第1号施工表
25m未満, m, 1.75 kg, 1.14 kg, 29 個	1				
合 計		構造物			

第2号一位代価表

左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理有）

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工(左官工法)		構造物			第2号施工表
有り, 0.1m3以上, 0.22 m3	1				
合 計		構造物			

第3号一位代価表

殻運搬

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込(コンクリート殻)		m3			第1号施工P
全ての費用	100				
殻運搬		m3			第2号施工P
コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 10.9km以下, 全ての費用	100				
廃材持込料		t			
区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	235				
合 計		m3			
	(1		当り		

第4号一位代価表

足場支保工

100.000 掛m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
足場工		掛m2			第3号施工表
手摺先行型枠組足場，不要，標準(1.0)					
合 計		掛m2			
	(1		当り		

第5号一位代価表

敷鉄板工

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板設置・撤去		m2			第4号施工表
設置・撤去	100				
敷鉄板賃料		枚			第6号施工表
22×1,524×3,048(mm)，整備費あり，不足分弁償金なし，t/枚	22				
合 計		m2			
	(1		当り		

第6号一位代価表

左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理有）

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工(左官工法)		構造物			第7号施工表
有り，0.1m3未満，0.051 m3	1				
合 計		構造物			

第7号一位代価表

殻運搬

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込(コンクリート殻)		m3			第1号施工P
全ての費用	100				
殻運搬		m3			第2号施工P
コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 10.9km以下, 全ての費用	100				
廃材持込料		t			
区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	235				
合 計		m3			
	(1		当り		

第8号一位代価表

交通誘導警備員B

100.000 人日 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人			
合 計		人日			
	(1		当り		

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 関東・中部・近畿, 5.6 km, km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無		t			第8号施工表
	100				
仮設材等の積込み取卸し費 積込み、取卸し(往復分)		t			第9号施工表
	100				
仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 関東・中部・近畿, 5.6 km, km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無		t			第8号施工表
	100				
合 計		t			
	(1		当り		

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表) ひび割れ補修工(低圧注入工法)

1.00構造物 当り

(WB229110)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エポキシ樹脂注入材 土木補修用1種	1.750	kg			
シール材 エポキシ	1.562	kg			
低圧注入器具 ひび割れ補修工(低圧注入工法)	29.000	個			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	1構造物当り補修延べ延長区分	25m未満
J03	1構造物当り注入材使用量(実数)	1.75 kg
J04	1構造物当りシール材設計量(実数)	1.14 kg
J05	1構造物当低圧注入器具使用量(実	29 個

(WB229210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	0.260	m3			
諸雑費(率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	有り
J02	1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3以上
J03	1構造物当り修復延べ体積(実数)	0.22 m3

第 0003 号 一位代価表(施工歩掛表) 足場工

100.00 掛m2 当り

(WB252110)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
とび工		人			
普通作業員		人			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 25t吊		日			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	掛m2	当り		

条件名称
 J01 工法
 J02 安全ネット
 J03 ラフテレーンクレーン賃料
 補正

入力名称
 手摺先行型枠組足場
 不要
 標準(1.0)

第 0004 号 一位代価表(施工歩掛表) 敷鉄板設置・撤去

100.00 m2 当り

(WB253610)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
とび工		人			
普通作業員		人			
バックホウ(クローラ型)運転		日			第5号施工表
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	m2	当り		

条件名称
J01 作業区分

入力名称
設置・撤去

第 0005 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ(クローラ型)運転

1.00 日 当り

(WK250590)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

春日部市

第 0006 号 一位代価表(施工歩掛表) 敷鉄板賃料

1.00 枚 当り

(SB253630)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
敷き鉄板賃料 22×1524×3048mm 90日以内		枚・日			
整備費(敷鉄板) 22×1524×3048mm	1.000	枚			
合 計	1	枚	当り		

	条件名称	入力名称
J01	敷鉄板の種類	22×1,524×3,048(mm)
J03	整備費の有無	整備費あり
J04	不足分弁償金の有無	不足分弁償金なし

第 0007 号 一位代価表(施工歩掛表) 断面修復工(左官工法)

1.00構造物 当り

(WB229210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	0.060	m3			
諸雑費(率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	有り
J02	1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3未満
J03	1構造物当り修復延べ体積(実数)	0.051 m3

第 0008 号 一位代価表(施工歩掛表) 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 1.00 t 当り

(WB010020)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
基本運賃区分A 製品長12m以内 10kmまで	1.000	t			
合 計	1	t	当り		

	条件名称	入力名称
J01	発注機関区分	関東・中部・近畿
J02	片道運搬距離(実数入力)	5.6 km
J04	製品長区分	12m以内
J05	運搬割増率	各種(実数入力)
J06	運搬割増率(実数入力)	0
J07	その他の諸料金の有無	無

第 0009 号 一位代価表(施工歩掛表) 仮設材等の積込み取卸し費 1.00 t 当り

(WB010030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込み、取卸し費(仮設材等)	2.000	t			
合 計	1	t	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	積込み、取卸し(往復分)

第 0001 号 一位代価表(施工P構成表) 積込(コンクリート殻)

1 m3 当り

(CB224260)

施工P(機 9.770%, 労86.030%, 材 4.200%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ型)[標準型] 排出ガス対策型(2014年規制) 山 積0.8m3		9.77		K1
普通作業員		77.5		R1
運転手(特殊)		8.53		R2
軽油		4.2		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 費用の内訳

入力名称
全ての費用

第 0002 号 一位代価表(施工P構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工P(機41.690%, 労43.880%, 材14.430%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディー ゼル] 10t積級		41.69		K1
運転手(一般)		43.88		R1
軽油		14.43		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 殻発生作業
J02 積込工法区分
J03 DID区間の有無
J04 運搬距離(km)(DID区間有無)
J13 費用の内訳

入力名称
コンクリート(無筋)構造物とりこわし
機械積込
有り
10.9km以下
全ての費用

春日部市

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	ひび割れ補修工(低圧注入工法) 25m未満, m, 1.75 kg, 1.14 kg, 29 個	構造物		WB229110
第0002号施工表	断面修復工(左官工法) 有り, 0.1m3以上, 0.22 m3	構造物		WB229210
第0003号施工表	足場工 手摺先行型枠組足場, 不要, 標準(1.0)	掛m2		WB252110
第0004号施工表	敷鉄板設置・撤去 設置・撤去	m2		WB253610
第0005号施工表	バックホウ(クローラ型)運転	日		WK250590
第0006号施工表	敷鉄板賃料 22×1,524×3,048(mm), 整備費あり, 不足分弁償金なし, t/枚	枚		SB253630
第0007号施工表	断面修復工(左官工法) 有り, 0.1m3未満, 0.051 m3	構造物		WB229210
第0008号施工表	仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 関東・中部・近畿, 5.6 km, km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無	t		WB010020
第0009号施工表	仮設材等の積込み取卸し費 積込み、取卸し(往復分)	t		WB010030
第0001号施工P	積込(コンクリート殻) 全ての費用	m3		CB224260
第0002号施工P	殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 10.9km以下, 全ての費用	m3		CB227010

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

工事特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工 事 名 B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事
- ・工事場所 春日部市谷原新田地内

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用【促進】計画書を作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用【促進】実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託計画を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けること。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土は、以下に示す土質改良プラントへ搬出し、受入地までの片道運搬距離は仕様書によるものとする。

ア 土質改良プラント 埼玉県内の石灰改良プラント

2. 受注者は500m³以上の建設発生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂排出届書を受理担当機関へ提出する。
3. 受注者は、規定様式により搬出前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土の搬出情報を郵便・FAX等で提供し、その写しを監督員に提出する。

(建設廃棄物の再資源化等)

- 第5条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設としなければならない。
- なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。
- 2 受注者は、契約前「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。
 - 3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用【促進】実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

(週休2日制モデル工事)

第6条 本工事は、春日部市「週休2日制モデル工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

試行の実施は、春日部市「週休2日制モデル工事」試行要領によるものとする。試行要領は、春日部市ホームページで確認すること。

○春日部市ホームページ

https://www.city.kasukabe.lg.jp/jigyoshamuke/nyusatsu_keiyaku/seidogaiyo/24053.html

(情報システムの活用)

第7条 本工事は、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」第3条第1項に基づき、情報共有システムを活用すること。

実施にあたっては、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」に基づくものとするので予め市のウェブページを参照すること。

○春日部市ホームページ

<https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/keiyakukensaka/gyomuannai/2/3/29511.html>

(その他)

第8条 工事完成図書については、検査完了後、下記の電子データをCD-R等で納品しなければならない。

- ・材料承諾書類一式
- ・完成図書（PDF・CADデータ）
- ・工事写真
- ・その他監督員が必要と認めるもの

B21号橋2

数量計算書

1. 数量総括表

1.1. 全体総括表

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
ひびわれ補修工					
ひびわれ注入工	注入工延長		m	7.4	
	シーل材	エポキシ樹脂系	kg	1.14	
	注入材	エポキシ樹脂系, ロス率40%含む	kg	1.75	
	注入器具	0.3m当り1本	本	29	
上部工断面修復工					
断面修復工A	補修体積		m ³	0.031	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.031	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材あり）	m ³	0.037	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.013	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.013	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材なし）	m ³	0.015	ロス率18%含む
下部工断面修復工					
断面修復工A	補修体積		m ³	0.130	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.130	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材あり）	m ³	0.153	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.052	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.052	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材なし）	m ³	0.061	ロス率18%含む
仮設工					
足場支保工	設置面積	枠組足場	掛m ²	33.9	
敷鉄板工	設置・撤去面積		m ²	44.6	

2. ひびわれ補修工

2. 1. 上部工 ひびわれ注入工 数量総括表

	単位	数量	摘要
注入工延長	m	7.43	
シーリング材	kg	1.14	エポキシ樹脂系
注入材	kg	1.75	エポキシ樹脂系, ロス率40%含む
注入器具	本	29	0.3m当り1本

2. 2. 上部工 ひびわれ注土工

2. 2. 1. ひびわれ注土工明細計算書

桁下

ひびわれ h (0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)	注入器具
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所		個数 (個)
地覆					
h1	0.4	500	1	0.500	2
h2	0.4	360	1	0.360	2
h3	0.2	200	1	0.200	1
h4	0.2	270	1	0.270	1
h5	0.2	500	1	0.500	2
h6	0.2	200	1	0.200	1
h7	0.5	1500	1	1.500	5
h8	0.2	500	1	0.500	2
h9	0.2	200	1	0.200	1
h10	0.2	200	1	0.200	1
主桁					
h11	0.5	500	1	0.500	2
h12	0.3	1300	1	1.300	5
h13	0.5	1200	1	1.200	4
ひびわれ注土工 合計				7.430	29

2.2.2. 注入工延長

ひびわれ延長（ひびわれ数量表より）

桁下

L= 7.43 m

ひびわれ注入工 延長合計 $\Sigma L = 7.43$ m

2.2.3. 注入材質量

シール材(エポキシ樹脂系)

比重： 1.7 ロス率： 1.37

桁下

$$w = \frac{7.430}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1700}{\text{比重}} \times \frac{1.37}{\text{ロス率}} = 1.56 \text{ kg}$$

(ロス控除) = 1.14 kg

ひびわれ注入工 シール材質量合計 $\Sigma W = 1.56$ kg

2.2.4. 注入器具

0.3m当り1本

桁下

n= 数量表より = 29 本

ひびわれ注入工 注入器具合計 $\Sigma N = 29$ 本

2.2.5. 注入材質量

注入材(エポキシ樹脂系)注入器容量想定： 43 g/本 ロス率： 1.40

$$w = \frac{29}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times \frac{1.40}{\text{ロス率}} = 1.75 \text{ kg}$$

ひびわれ注入工 注入材質量合計 $\Sigma W = 1.75$ kg

3. 断面修復工

3.1. 断面修復工 総括表

3.1.1. 上部工断面修復工 数量総括表

工種		規格	単位	数量	摘要
断面修復工A	補修体積		m ³	0.031	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.031	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.037	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.013	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.013	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.015	ロス率18%含む

3.1.2. 下部工断面修復工 数量総括表

工種		規格	単位	数量	摘要
断面修復工A	補修体積		m ³	0.130	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.130	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.153	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.052	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.052	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.061	ロス率18%含む

3. 2. 上部工 断面修復工

3. 2. 1. 断面修復工 明細計算書

桁下

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
T1	地覆	鉄筋露出	220	210	1	0.046	60	0.0028
T2	地覆	鉄筋露出	500	150	1	0.075	60	0.0045
U1	地覆	うき	800	220	1	0.176	60	0.0106
U2	地覆	うき	1000	220	1	0.220	60	0.0132
断面修復工A 合計						0.517		0.0311

合計	断面修復工A	面積 $\Sigma A =$	0.517 m^2
		体積 $\Sigma V =$	0.031 m^3
	断面修復材(ロス率18%)	$\Sigma V \times 1.18 =$	0.037 m^3

桁下

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
H1	地覆	剥離	300	200	1	0.060	30	0.0018
H2	地覆	剥離	200	100	1	0.020	30	0.0006
H3	地覆	剥離	200	150	1	0.030	30	0.0009
H4	地覆	剥離	250	100	1	0.025	30	0.0008
H5	地覆	剥離	150	270	1	0.041	30	0.0012
H6	地覆	剥離	600	270	1	0.162	30	0.0049
H7	地覆	剥離	250	270	1	0.068	30	0.0020
H8	地覆	剥離	150	150	1	0.023	30	0.0007
断面修復工B 合計						0.429		0.0129

合計	断面修復工B	面積 $\Sigma A =$	0.429 m^2
		体積 $\Sigma V =$	0.013 m^3
	断面修復材(ロス率18%)	$\Sigma V \times 1.18 =$	0.015 m^3

3.3. 下部工 断面修復工

3.3.1. 断面修復工 明細計算書

A2橋台

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
U1	袖擁壁	うき	170	600	1	0.102	110	0.0112
U2	縦壁	うき	1200	900	1	1.080	110	0.1188
断面修復工A 合計						1.182		0.1300

合計 断面修復工A 面積 $\Sigma A = 1.182 \text{ m}^2$
 体積 $\Sigma V = 0.130 \text{ m}^3$
 断面修復材(ロス率18%) $\Sigma V \times 1.18 = 0.153 \text{ m}^3$

A1橋台

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
K1	袖擁壁	欠損	730	700	1	0.511	70	0.0358
断面修復工B 合計						0.511		0.0358

A2橋台

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
K2	袖擁壁	欠損	400	100	1	0.040	70	0.0028
K3	胸壁	欠損	150	300	1	0.045	70	0.0032
H1	袖擁壁	剥離	500	300	1	0.150	70	0.0105
断面修復工B 合計						0.235		0.0165

合計 断面修復工B 面積 $\Sigma A = 0.746 \text{ m}^2$
 体積 $\Sigma V = 0.052 \text{ m}^3$
 断面修復材(ロス率18%) $\Sigma V \times 1.18 = 0.061 \text{ m}^3$

4. 仮設工

4. 1. 足場支保工 総括表

工種	規格	単位	数量	備考
足場工	足場支保工	掛m2	33.9	

4. 2. 敷鉄板工 総括表

工種	規格	単位	数量	備考
足場工	敷鉄板工	m2	44.6	

4. 2. 仮設工

4. 2. 1足場工 内訳

足場支保工 枠組足場

$$A = 2 (6.095 \times 2.195) + 1 (6.095 \times 1.179) = 33.943 \text{ 掛m}^2$$

4. 2. 2敷鉄板工

敷鉄板

$$A = 2.438 \times 6.095 \times 3 = 44.579 \text{ m}^2$$

$$W = 44.579 \times 0.022 \times 7.850 = 7.699 \text{ t}$$

B21号橋3

数量計算書

1. 数量総括表

1. 1. 全体総括表（その1）

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
断面修復工					
断面修復工A	補修体積		m ³	0.040	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.040	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材あり）	m ³	0.047	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.011	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.011	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル（防錆材なし）	m ³	0.013	ロス率18%含む

2. 断面修復工

2.1. 断面修復工 総括表

工種		規格	単位	数量	摘要
断面修復工A	補修体積		m ³	0.040	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.040	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材あり)	m ³	0.047	ロス率18%含む
断面修復工B	補修体積		m ³	0.011	
	コンクリート殻処理	無筋（殻運搬含む）	m ³	0.011	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル(防錆材なし)	m ³	0.013	ロス率18%含む

2.2. 上部工 断面修復工

2.2.1. 断面修復工 明細計算書

桁下（断面修復工A）

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
T1	頂版	鉄筋露出	1000	100	1	0.100	80	0.0080
T2	頂版	鉄筋露出	150	150	1	0.023	80	0.0018
T3	頂版	鉄筋露出	400	100	1	0.040	80	0.0032
T4	頂版	鉄筋露出	1000	100	1	0.100	80	0.0080
T5	頂版	鉄筋露出	570	70	1	0.040	80	0.0032
T6	頂版	鉄筋露出	1000	200	1	0.200	80	0.0160
断面修復工A 合計						0.503		0.0402

合計	断面修復工A	面積 $\Sigma A =$	0.503 m^2
		体積 $\Sigma V =$	0.040 m^3
	断面修復材(ロス率18%)	$\Sigma V \times 1.18 =$	0.047 m^3

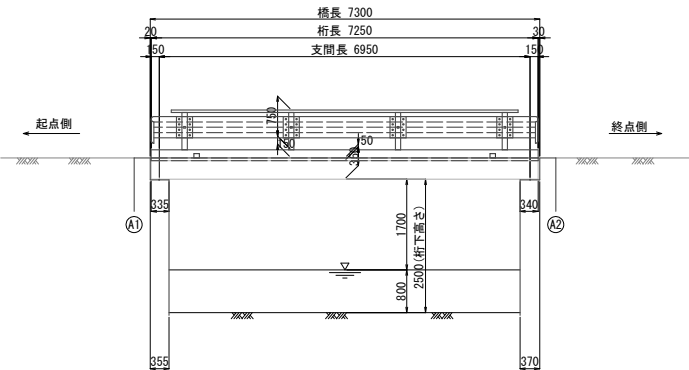
橋面(縁石すりつけ工)(断面修復工B)

番号	名 称	損傷種類	補修寸法			面積 (m^2)	深さ (mm)	体積 (m^3)
			幅	長さ	箇所			
A1	縁石	段差	400	900	1	0.360	30	0.0108
断面修復工B 合計						0.360		0.0108

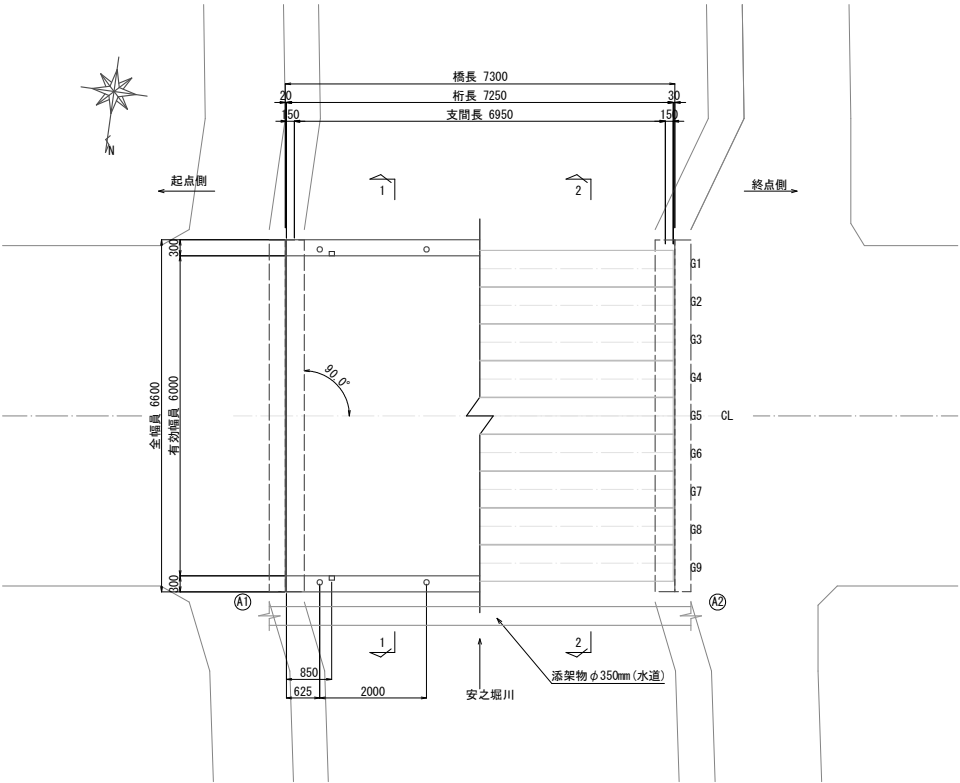
合計	断面修復工A	面積 $\Sigma A =$	0.360 m^2
		体積 $\Sigma V =$	0.011 m^3
	断面修復材(ロス率18%)	$\Sigma V \times 1.18 =$	0.013 m^3

B21号橋2 現況一般図 S=1:50

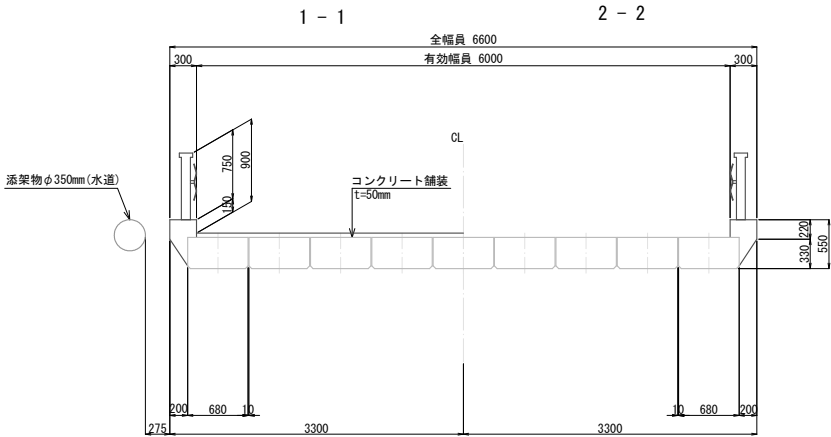
側面図



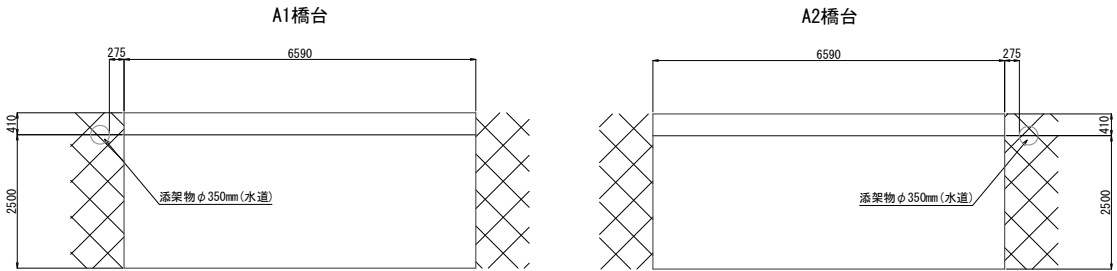
平面図



断面図 S=1:30



正面図



橋梁諸元

橋梁名	B21号橋2
路線名	市道2-21号線
橋長	7.300
全幅員	6.600
有効幅員	6.000
支間長	6.950
斜角	90.00°
上部工形式	単純プレキャストPC床板
下部工形式	不明
基礎工形式	既成PC杭基礎
適用示方書	昭和47年道示(点検調書より)
設計活荷重	T-20(昭和31年1等橋)
架設年次	1972年(昭和47年)
交差条件	安之堀川/春日部市河川課

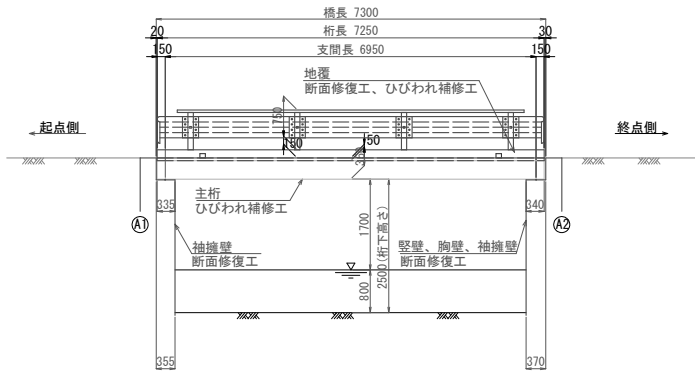
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

図面サイズ: A3

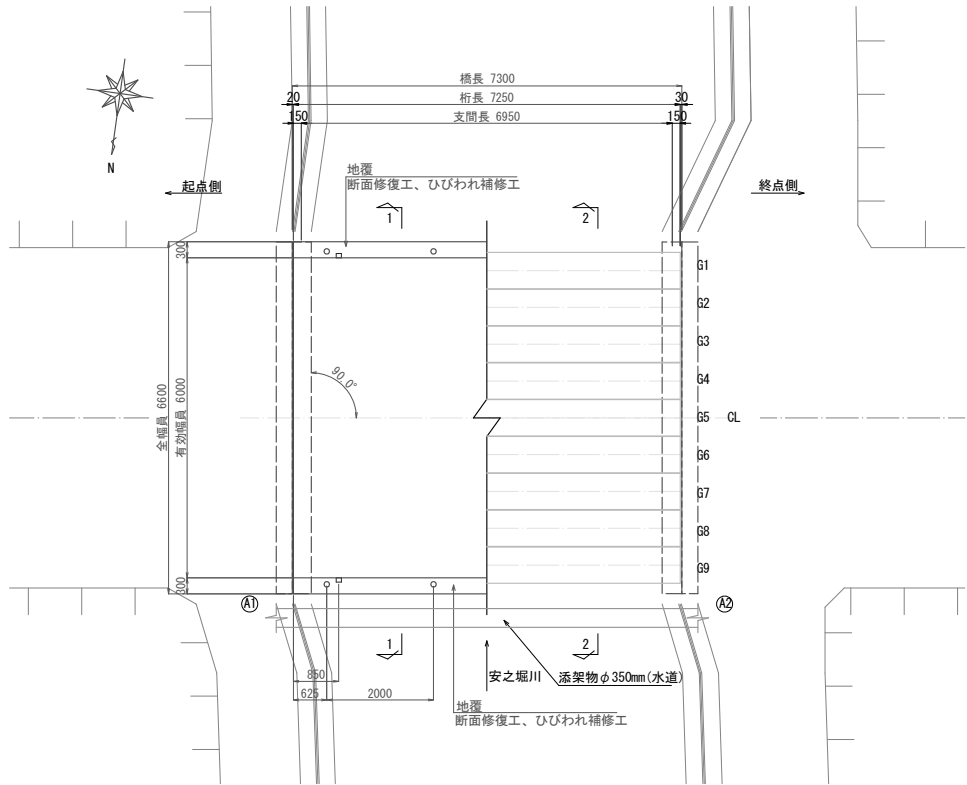
工事名	B21号橋2外1橋補修工事		
路線名	市道2-21号線		
工事箇所	春日部市谷原新田地内		
図面名	B21号橋2 現況一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
春日部市 建設部 道路建設課			

B21号橋2 補修一般図 S=1:50

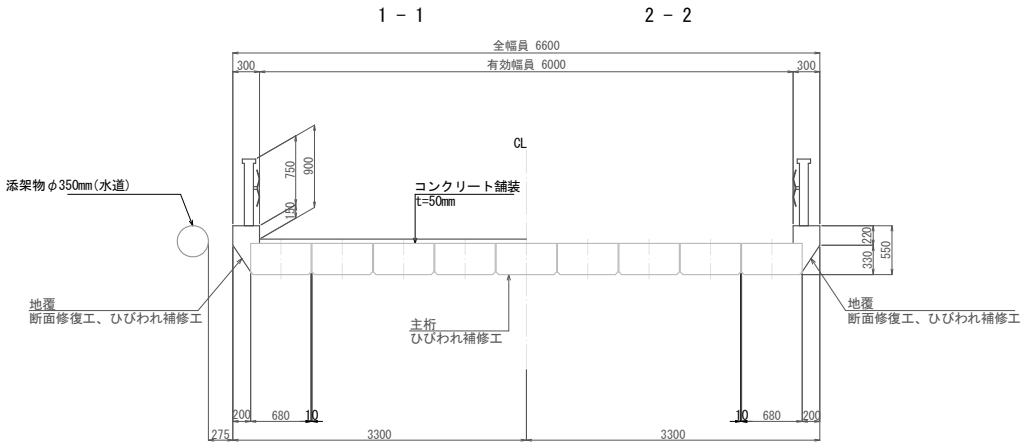
側面図



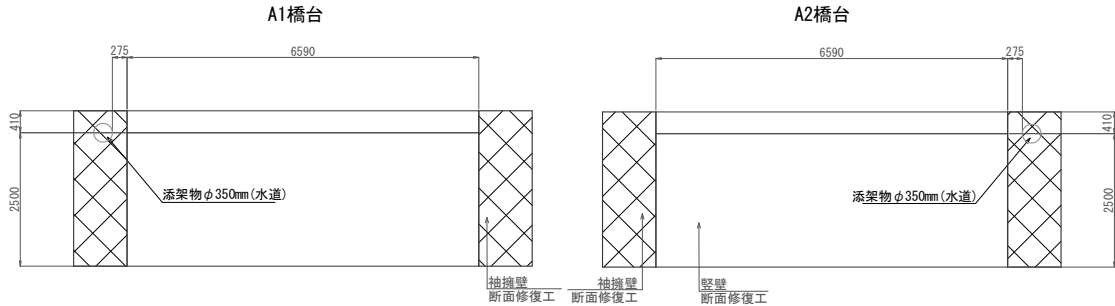
平面図



断面図 S=1:30



正面図



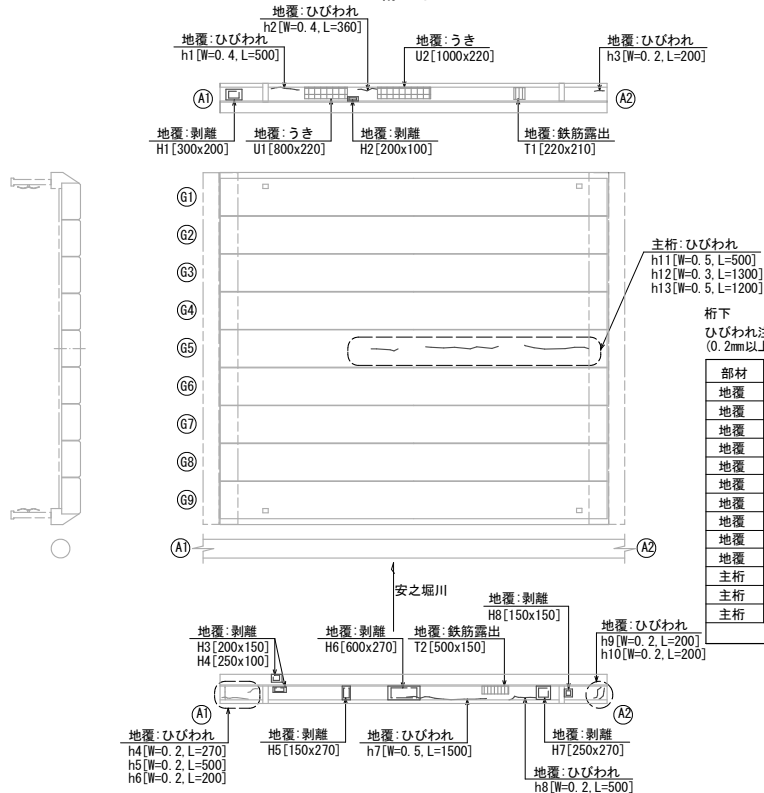
補修対策一覧	
対 策 工	補 修 箇 所
上部工	ひびわれ補修工
下部工	断面修復工
	主桁、地覆
	地覆
	A1橋台：袖擁壁
	A2橋台：袖擁壁、縦壁、胸壁

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

図面サイズ：A 3	
工 事 名	B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事
路 線 名	市道2-21号線
工事箇所	春日部市谷原新田地内
図 面 名	B21号橋2 補修一般図
縮 尺	図示 図面番号 2 / 8
春日部市 建設部 道路建設課	

B21号橋2 上部工補修工 S=1:50

平面図
桁下



桁下
ひびわれ注入工数量表
(0.2mm以上～1.0mm未満)

部材	No.	幅(mm)	本数	延長(mm)	注入器具(個)
地覆	h1	0.40	1	500	2
地覆	h2	0.40	1	360	2
地覆	h3	0.20	1	200	1
地覆	h4	0.20	1	270	1
地覆	h5	0.20	1	500	2
地覆	h6	0.20	1	200	1
地覆	h7	0.50	1	1500	5
地覆	h8	0.20	1	500	2
地覆	h9	0.20	1	200	1
地覆	h10	0.20	1	200	1
主桁	h11	0.50	1	500	2
主桁	h12	0.30	1	1300	5
主桁	h13	0.50	1	1200	4
合 計				7430	29

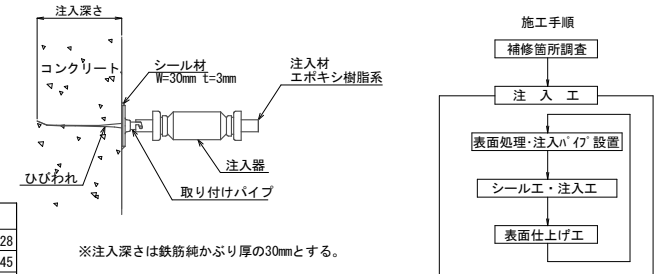
桁下
断面修復工A 数量表

部材	No.	補修範囲(mm)	補修深さ(mm)	箇所	V(m3)
地覆	T1	220 x 210	60	1	0.0028
地覆	T2	500 x 150	60	1	0.0045
地覆	U1	800 x 220	60	1	0.0106
地覆	U2	1000 x 220	60	1	0.0132
合 計					0.0311

桁下
断面修復工B 数量表

部材	No.	補修範囲(mm)	補修深さ(mm)	箇所	V(m3)
地覆	H1	300 x 200	30	1	0.0018
地覆	H2	200 x 100	30	1	0.0006
地覆	H3	200 x 150	30	1	0.0009
地覆	H4	250 x 100	30	1	0.0008
地覆	H5	150 x 270	30	1	0.0012
地覆	H6	600 x 270	30	1	0.0049
地覆	H7	250 x 270	30	1	0.0020
地覆	H8	150 x 150	30	1	0.0007
合 計					0.0129

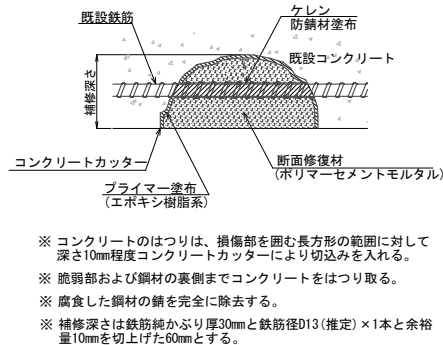
ひびわれ注入工詳細図 S=free
(自動式低圧樹脂注入工法)



ひびわれ注入工 数量表 (1橋当たり)

工 法	名 称	単 位	数 量	備 考
自動式低圧樹脂注入工法	施工延長	m	7.4	
	シール材	kg	1.6	エポキシ樹脂系、ロス率37%含む
	注入材	kg	1.8	エポキシ樹脂系、ロス率40%含む
	注入器具	本	29	0.3m当り1本

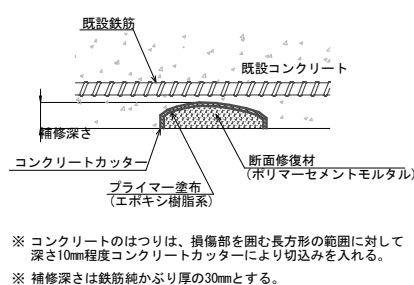
断面修復工A詳細図 S=free
鉄筋露出 (T)・うき (U)
＜断面修復補修深さ = 60mm＞



断面修復工A 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含む) (1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.03	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.04	ロス率18%含む

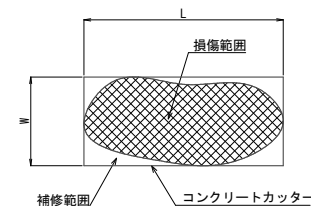
断面修復工B詳細図 S=free
剥離 (H)
＜断面修復補修深さ = 30mm＞



断面修復工B 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含まない) (1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.01	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.02	ロス率18%含む

断面修復範囲図 S=free



- 【注記】
1. 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
 2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 3. 脆弱部ははつり落とすこと。
 4. カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 5. ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
 6. 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

損 傷 の 凡 例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	h
鉄筋露出	T
剥離	H
うき	U

図面サイズ：A3

工 事 名	B21号橋2外1橋補修工事
路 線 名	市道2-21号線
工事箇所	春日部市谷原新田地内
図 面 名	B21号橋2 上部工補修工
縮 尺	図示 図面番号 3 / 8
春日部市 建設部 道路建設課	

B21号橋2 下部工補修工 S=1:50

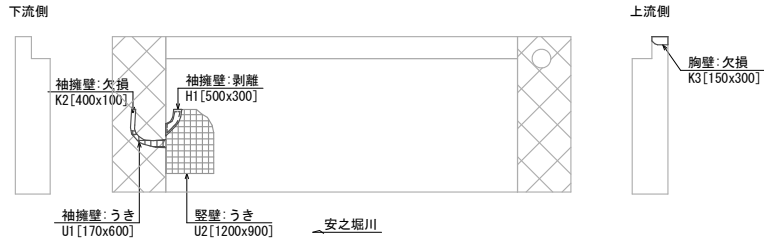
A1橋台



A1橋台
断面修復工B 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
袖擁壁	K1	730 x 700	70	1	0.0358

A2橋台



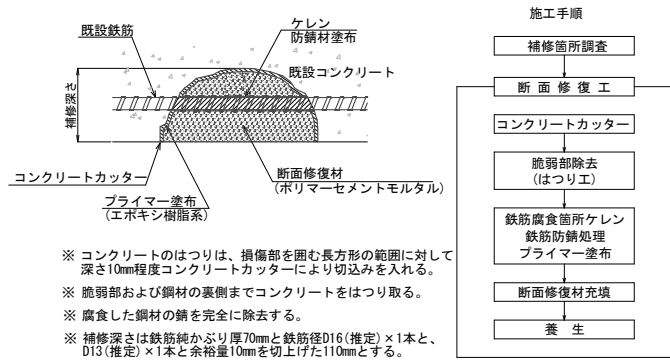
A2橋台
断面修復工A 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
袖擁壁	U1	170 x 600	110	1	0.0112
堅壁	U2	1200 x 900	110	1	0.1188
合 計					0.1300

A2橋台
断面修復工B 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
袖擁壁	K2	400 x 100	70	1	0.0028
胸壁	K3	150 x 300	70	1	0.0032
袖擁壁	H1	500 x 300	70	1	0.0105
合 計					0.0165

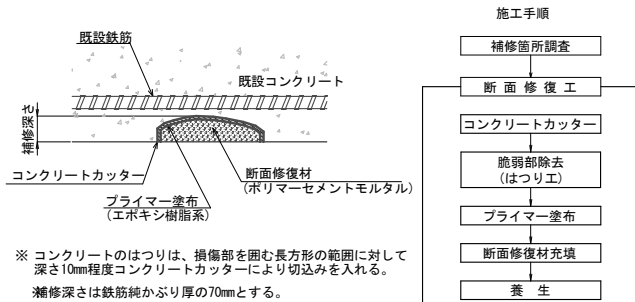
断面修復工A詳細図 S=free
うき (U)
＜断面修復補修深さ = 110mm＞



断面修復工A 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含む) (1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.13	
断面修復材	* リマセメントモルタル	m3	0.15	ロス率18%含む

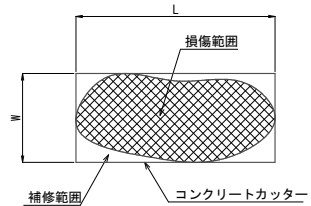
断面修復工B詳細図 S=free
欠損 (K)・剥離 (H)
＜断面修復補修深さ = 70mm＞



断面修復工B 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含まない) (1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.05	
断面修復材	* リマセメントモルタル	m3	0.06	ロス率18%含む

断面修復範囲図 S=free



- 注記)
- 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 脆弱部ははつり落とすこと。
 - カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 - ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
 - 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

損 傷 の 凡 例

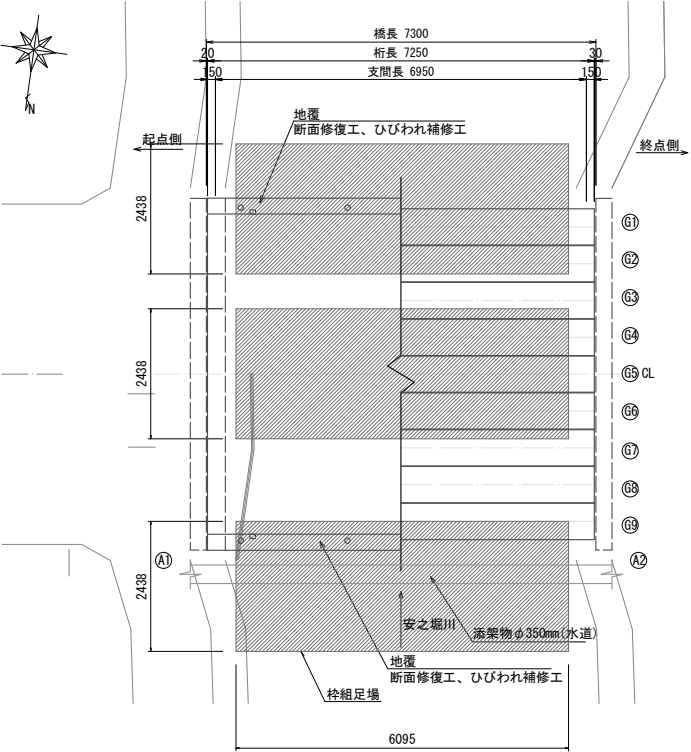
損傷の種類	表 示	
うき		U
欠損		K
剥離		H

図面サイズ：A 3

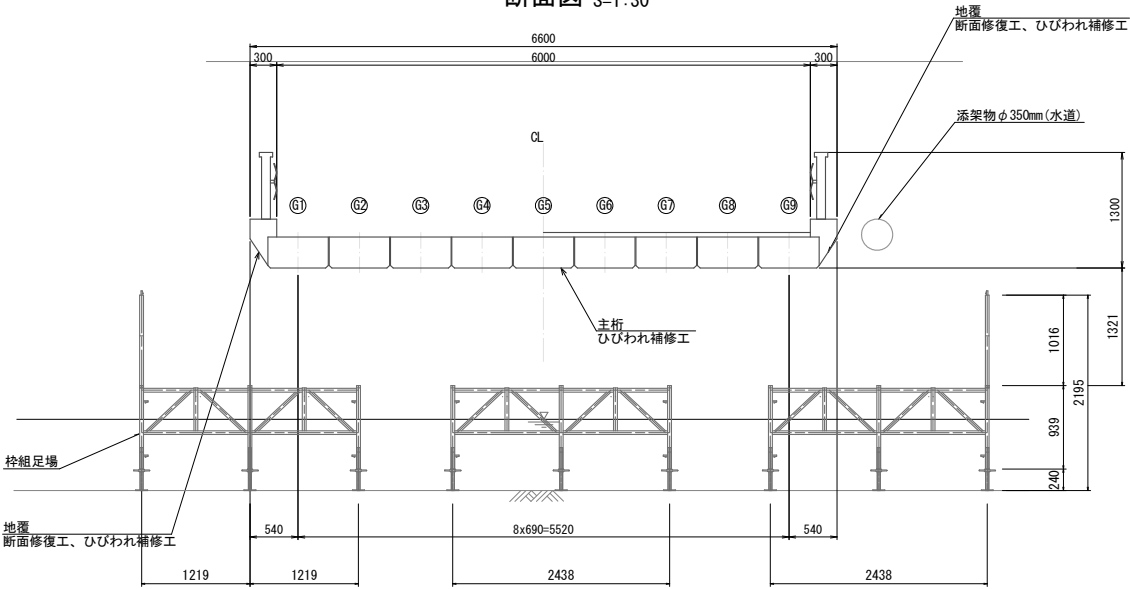
工 事 名	B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事		
路 線 名	市道2-21号線		
工事箇所	春日部市谷原新田地内		
図 面 名	B21号橋2 下部工補修工		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 8
春日部市 建設部 道路建設課			

B21号橋2 足場工計画図（参考図）S=1:50

平面図

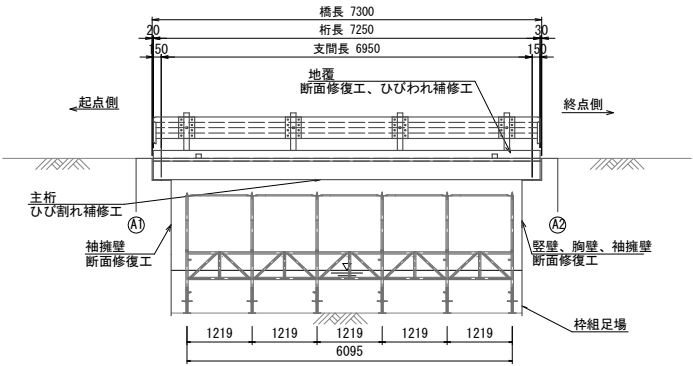


断面図 S=1:30



※枠組足場の下については、敷鉄板で養生

側面図



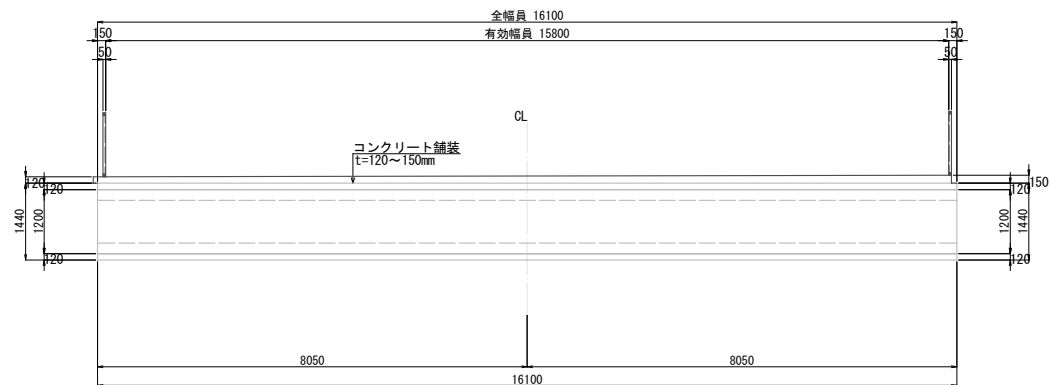
足場工数量		(1式当り)			
細目	計算式	単位	数量	備考	
足場工	枠組足場	2.438 x 6.095 x 3	m ²	44.6	
		2(6.095 x 2.195) + (6.095 x 1.179)	掛m ²	33.9	

図面サイズ：A3	
工事名	B21号橋2外1橋補修工事
路線名	市道2-21号線
工事箇所	春日部市谷原新田地内
図面名	B21号橋2 足場工計画図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 5 / 8
春日部市 建設部 道路建設課	

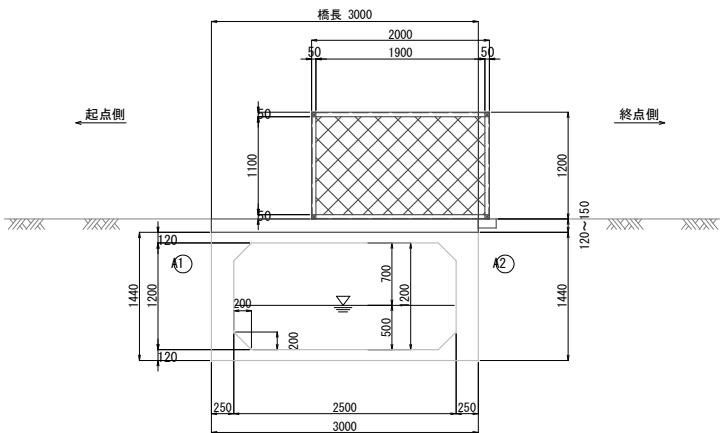
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

B21号橋3 現況一般図 S=1:50

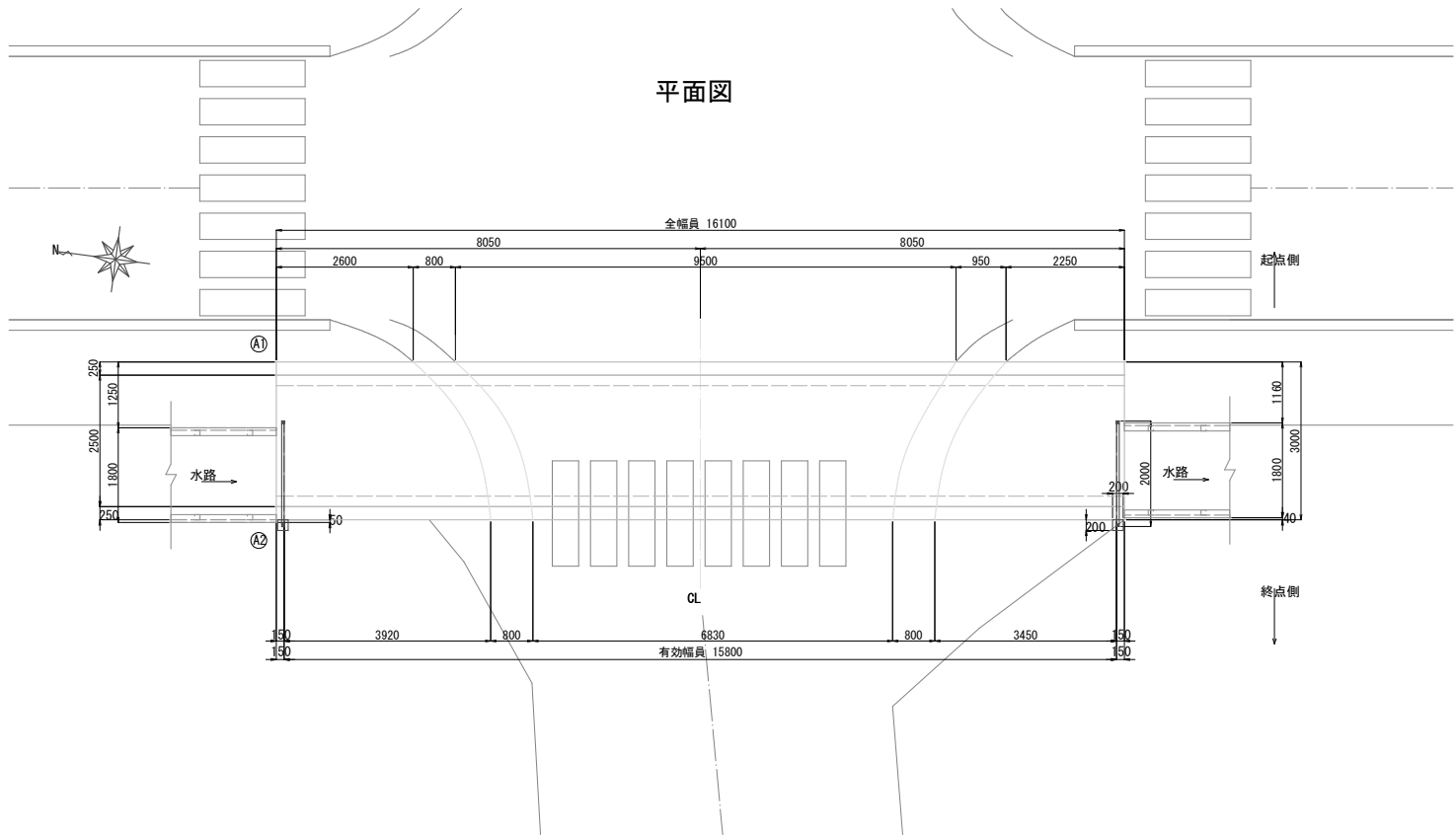
断面図



側面図 S=1:30



平面図



橋梁諸元

橋梁名	B21号橋3
路線名	市道2-21号線
橋長	3.000
全幅員	16.100
有効幅員	15.800
頂版厚	0.120
橋面積	48.30㎡ (橋長×全幅員)
構造形式	プレキャストBOXカルバート
基礎形式	木杭基礎
適用示方書	土木構造物設計基準(1978年改定) 又は建設省技術基準(1973年版)と想定
設計活荷重	T-20
架設年次	1983年(昭和58年)
交差条件	12-0-0水路 (No. 25+32-63) / 春日部市河川課

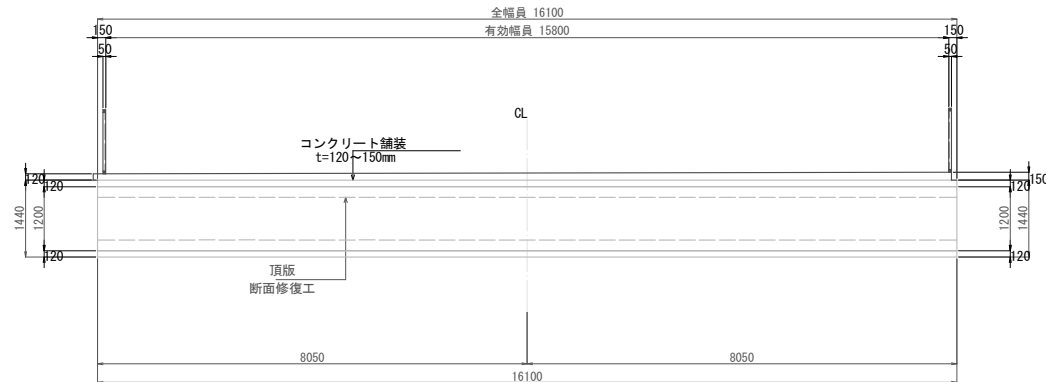
注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

図面サイズ: A3

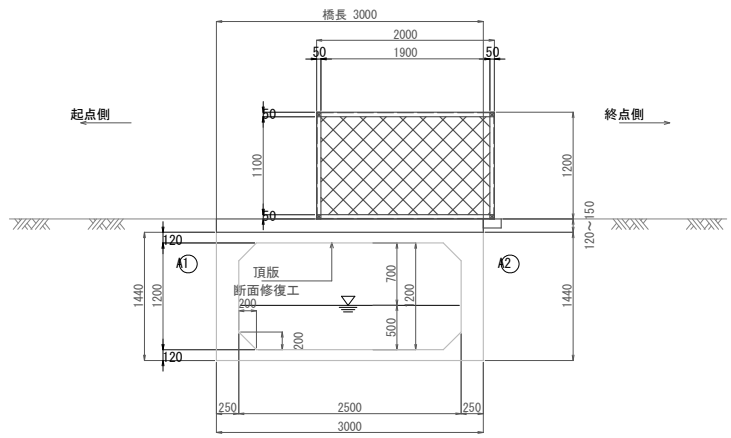
工 事 名	B21号橋2外1橋補修工事		
路 線 名	市道2-21号線		
工事箇所	春日部市谷原新田内地		
図 面 名	B21号橋3 現況一般図		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 8
春日部市 建設部 道路建設課			

B21号橋3 補修一般図 S=1:50

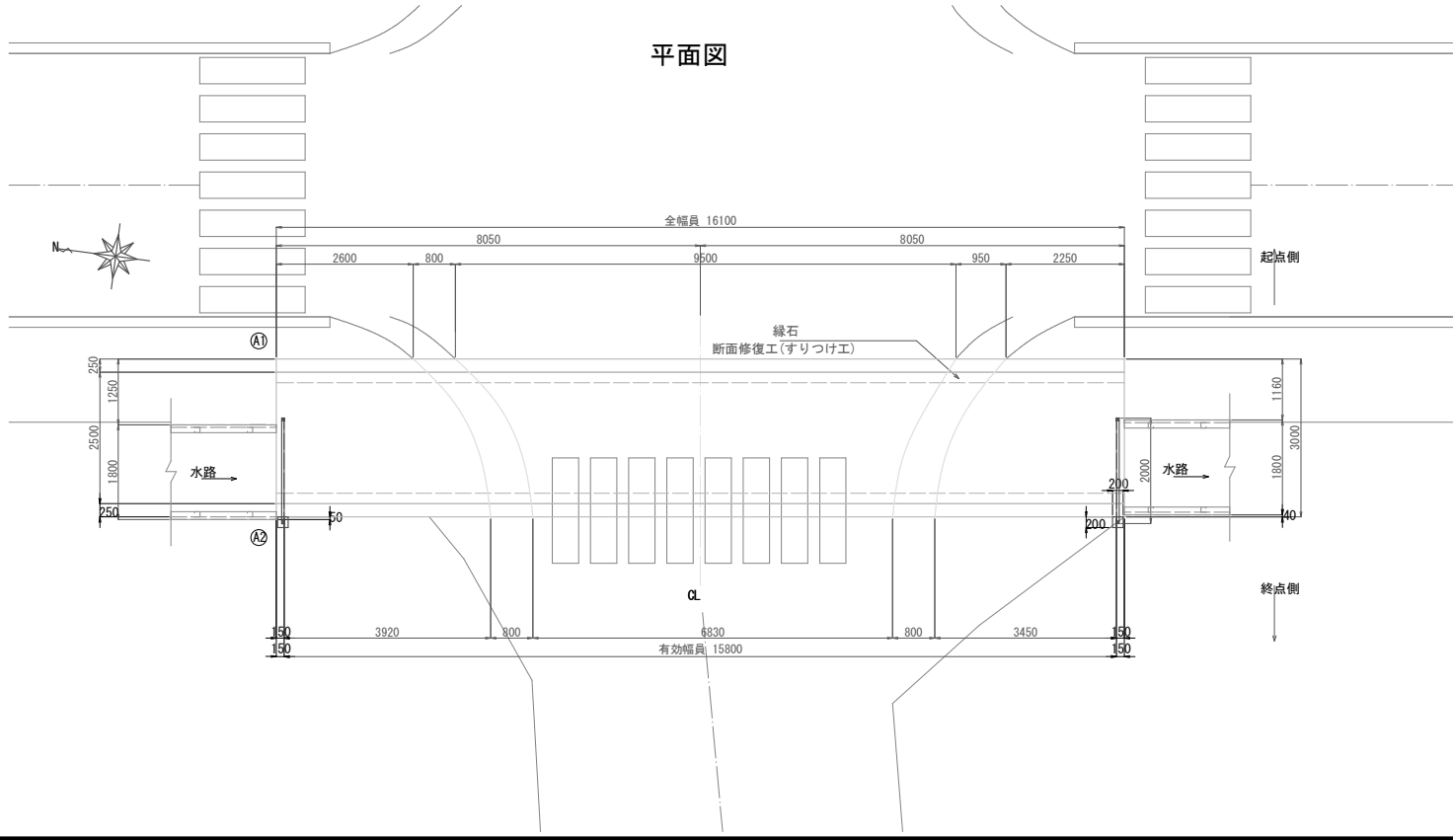
断面図



側面図 S=1:30



平面図



補修対策一覧

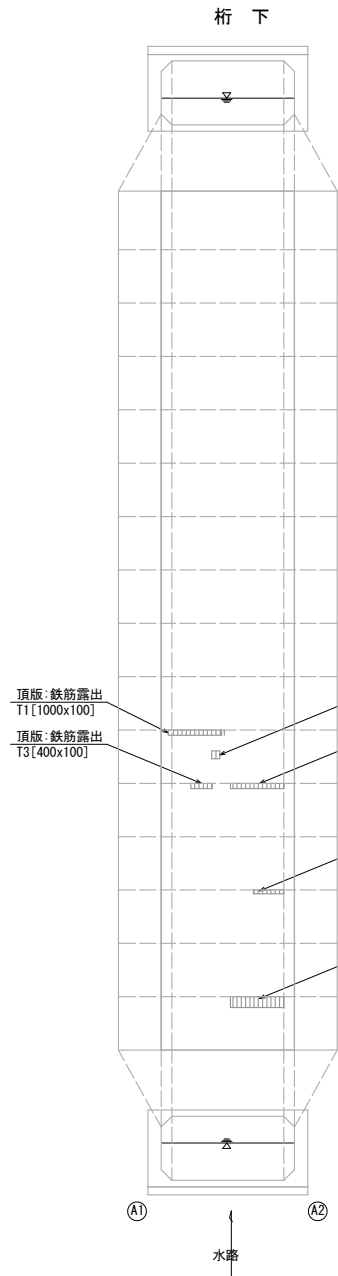
	対 策 工	補 修 箇 所
上部工	断面修復工	頂版
	断面修復工(すりつけ工)	緑石

注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものである。
作図にあたり測量は実施していない。
2. 本図での方位はおおよその向きを示すものであり、測量結果に基づくものではない。

図面サイズ: A 3	
工 事 名	B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事
路 線 名	市道2-21号線
工事箇所	春日部市谷原新田地内
図 面 名	B21号橋3 補修一般図
縮 尺	図示 図面番号 7 / 8
春日部市 建設部 道路建設課	

B21号橋3 上部工補修工 S=1:50

平面図



桁下

断面修復工A 数量表

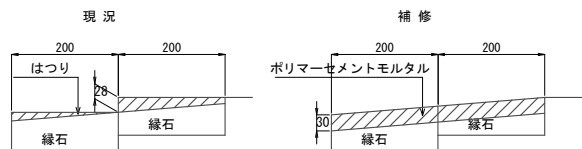
部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
頂版	T1	1000 x 100	80	1	0.0080
頂版	T2	150 x 150	80	1	0.0018
頂版	T3	400 x 100	80	1	0.0032
頂版	T4	1000 x 100	80	1	0.0080
頂版	T5	570 x 70	80	1	0.0032
頂版	T6	1000 x 200	80	1	0.0160
合 計					0.0402

橋面 (緑石すりつけ工)

断面修復工B 数量表

部材	No.	補修範囲 (mm)	補修深さ (mm)	箇所	V (m3)
緑石	A1	400 x 900	30	1	0.0108
合 計					0.0108

断面修復工B詳細図 S=1:5
緑石すりつけ工
A - A

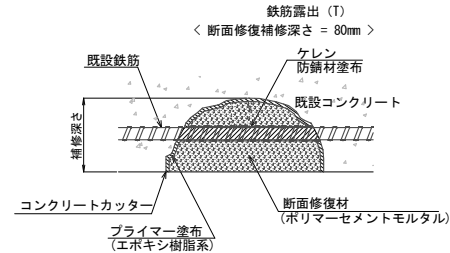


橋 面

緑石: 段差
H=28mm
A1=[400x900]



断面修復工A詳細図 S=1:10



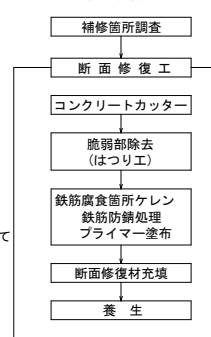
- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。
- ※ 補修深さは鉄筋純かぶり厚40mmと鉄筋径D16 (推定) × 1本と、D13 (推定) × 1本と余裕量10mmを切上げた80mmとする。

断面修復工A 数量表 (鉄筋ケレン・防錆処理含む)

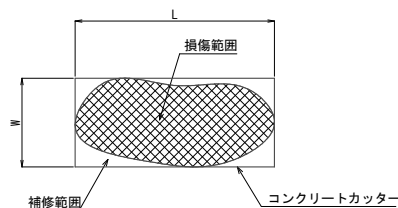
(1橋当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工量		m3	0.040	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.047	ロス率18%含む

施工手順



断面修復範囲図 S=1:10



損 傷 の 凡 例

損傷の種類	表 示
鉄筋露出	

注記)

1. 断面修復、ひびわれ補修の範囲は、「既往点検データ」「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合や、うき、欠損部にて鉄筋露出が見られる際には、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
3. 脆弱部ははつり落とすこと。
4. カッター工、はつり工の施工に際しては、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
5. ひびわれ注入工の数量は想定深さで算出している。工事では、実際の使用量等で管理し、監督職員と協議の上、変更すること。
6. 補修深さは現地確認の上、必要に応じて変更すること。

図面サイズ: A 3

工 事 名	B 2 1 号橋 2 外 1 橋補修工事
路 線 名	市道2-21号線
工事箇所	春日部市谷原新田地内
図 面 名	B21号橋3 上部工補修工
縮 尺	図示 図面番号 8 / 8
春日部市 建設部 道路建設課	